

たつのまち
議会
だより

No.
79

日本のど真ん中
信州辰野町



Center of Japan

36° 00' 00" N 138° 00' 00" E



辰野美術館 (いいまちたつの知らせ隊)

ほたるの里 中学生議会開催

中学生議会	2	一般質問	12
9月定例会報告	4	議会活性化委員会	17
現地調査	7	町民の声	18
委員会レポート	8		



辰野町議会

中学生議会開催

8月26日辰野町役場議場にて、議会主催のほたるの里中学生議会が10年ぶりに開催されました。

このたび、中学生が町政について日頃疑問に思っていることや、豊かな感性を活かした要望や提案などを、町政に反映するための機会を設けることと、議会を体験することで町政に関心を深めてもらうことを目的として中学生議会を開催しました。
議会活性化委員長 小澤 睦美

上段 ●質問内容 / 下段 ○中学生議員になった感想 (詳細は広報たつの10月号をご覧ください)



あいさつ

かしわばら なおや
柏原 直哉さん
辰野中学校生徒会長

自分には縁のないように思っていた議会に参加してみて、大人になっても忘れることのないような貴重な経験ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。



おざわ みう
小澤 末佑 議員
(辰野中学校)

●町情報誌等に学生コーナーを
○とても緊張しましたが、学校のことを伝えるきっかけをつくることができとてもうれしかった。



よしえ あい
吉江 蒼 議員
(辰野中学校)

●ほたる祭りへの町民参加は
○緊張したが町のためになることを考えて実行するのはとても楽しかった。



はら ちほり
原 千穂里 議員
(両小野中学校)

●街灯を増やしてほしい
○町長さんや課長さんの答弁を聞いて新しいことを知ることができ良い経験になった。



おおだいら けんたろう
大平 賢太郎 議員
(辰野中学校)

●ランニングコース等の整備を
○緊張したけど自分の言いたいことは、はっきり言えて良かったし、楽しかった。



たけい ひろむ
武居 拓夢 議員
(辰野中学校)

●温水プールの新設を
○辰野町の政治に関わっているという実感がわいて、とても楽しかった。

顧問の先生の感想



初めての経験で生徒は緊張していましたが、議員の皆様お一人お一人に生徒をご指導いただき、生徒たちも安心して発表できたようです。生徒の感想にもありましたが、町のことがどのように決定しているか見ることができたことに、とても意義がありました。この経験を通して生徒たちは、まちを作り未来を作ることに興味と関心を持ってくれたことと思います。ありがとうございました。

辰野中学校 キャリア教育担当 清都しのぶ先生



今回、中学生議会場で発表する機会をいただき、全校生徒が地域の課題について自分も地域の一員であることを意識しながら考える良いきっかけになりました。自分の力では、直接行えないことでも、議会活動を通して自ら声を上げ提案することによって地域を支える活動に自分も参加できたと実感できる良い経験になりました。

両小野中学校 生徒会担当 田中和彦先生



いしざき ちさ
石崎 智紗 議員
(辰野中学校)

●冬のイベントで魅力の発信を
○普段、この場で辰野町が動いているのだと思うと、とてもいい経験が出来たと思う。



やまうち こうた
山内 滉太 議員
(辰野中学校)

●南小学校区にスクールバスを
○緊張した。町に貢献している気持ちになれました。



よねやま てっぺい
米山 哲平 議員
(両小野中学校)

●老人ホーム入所条件の緩和を
○地域のために、このような活動に参加させてもらったのでうれしかった。



たけい はやと
武井 勇人 議員
(辰野中学校)

●サイクリングロードの充実を
○議席に座っている時の緊張感など、とても良い体験になりました。



おざわ ゆうご
小澤 侑吾 議員
(辰野中学校)

●ゴミ拾いのイベント化を
○何を望んでいるのか、どのような町になってほしいのか伝えることができ、良い機会でした。



ももせ りょうや
百瀬 僚哉 議員
(両小野中学校)

●グリーンベルトの設置を
○再質問もとても緊張したけれど、議会に参加して、とても貴重な体験ができた。



議長の所感

コロナ禍を憂慮されるなか開催できたことは良かったです。中学生の皆さんが町づくりに関心を持ち、若者らしい斬新な視点から町長や担当課長に堂々と質問した姿が印象的であったと思います。キャリア教育の重要性が指摘されている昨今、今回の試みは町の未来に繋がる収穫があったと感じています。具体化できる提案については検討したいと思います。

議長 岩田 清

中学生議員の提案が実現に向けて動きます。

- ◎たつの海周囲のランニングコースは年度内に改修予定、照明はLEDに交換し明るくする。
 - ◎春の530運動を、ほたる祭り後に変更し町民の意識を高める。
 - ◎色が薄くなったグリーンベルトや古くなった縁石の整備をする。
- *その他、中学生議員の提案や要望に前向きな取り組みを検討していきます。

今回の質問を、一緒に検討した中学生の皆さんも傍聴されました。

- | | | |
|------------------------|--------------------|----------------------|
| たけだ りょうや
・武田 諒也さん | くぼた れん
・久保田 漣さん | かとう ゆうな
・加藤 優奈さん |
| むらかみ たくや
・村上 拓哉さん | みやざわ りん
・宮澤 凜さん | なかや じゅんな
・中谷 純菜さん |
| おおの た えいと
・大野田 慧人さん | (順不同) | |

令和元年度決算



～ 一般会計・特別会計・企業会計すべての会計で黒字 ～

- ◇ 7月臨時会 7月15日開催 ・審査議案2件（令和2年度補正予算2件）
- ◇ 9月定例会 8月31日～9月17日（18日間）開催
 - 【本会議】○議案審議 8/31・9/17 ○一般質問 9/8・9/9
 - 【常任委員会】○総務産業／福祉教育常任委員会 9/10・9/11 ○現地視察 9/14

○令和元年度決算表（議案1号～12号）

（千円単位は四捨五入）

区分	歳入	歳出	形式収支
一般会計	92億4,379万円	86億9,800万円	5億4,579万円
特別会計（9事業 国保他）	59億3,048万円	55億381万円	4億2,667万円
企業会計（2事業 辰野病院他）	25億2,045万円	24億7,595万円	4,449万円

●民生費

- 問** 町社協への委託料の項目が多いが総額は。
答 3,600万円ほどである。
問 プレミアム付商品券の購入者が27%と低い。
答 子育て世帯と低所得者に限定したためである。

●教育費

- 問** 分館改修工事補助金の内容は。
答 上平出コミセンの屋根補修と小野山口集会所のトイレ洋式化工事への補助。

●土木費

- 問** がけ地近接等危険住宅移転事業補助金とは。
答 レッドゾーンにある建物の取り壊しや移転に補助する。補助申請は2年前から手続きが必要。
問 北沢東工業適地の用地対策の進展は。
答 遺跡発掘調査の報告書作成までが事業。まだ、最低3年かかる。

●総務費

- 問** 防災無線の電気料とは。
答 中継局4局、子局50局と空調費。

●衛生費

- 問** 清掃費の上伊那広域連合負担金が昨年度比で1億円減少した理由は。
答 新ごみ処理場の建設費支払い分が減少した。
問 よりあい事業補助金の未申請区への対応は。
答 17区中6区で未申請。地区担当職員で取り組む。
問 マイナンバーカードの普及は。
答 8/31現在、21.61%（県下5位）。国目標は令和4年3月末100%普及。

●商工費

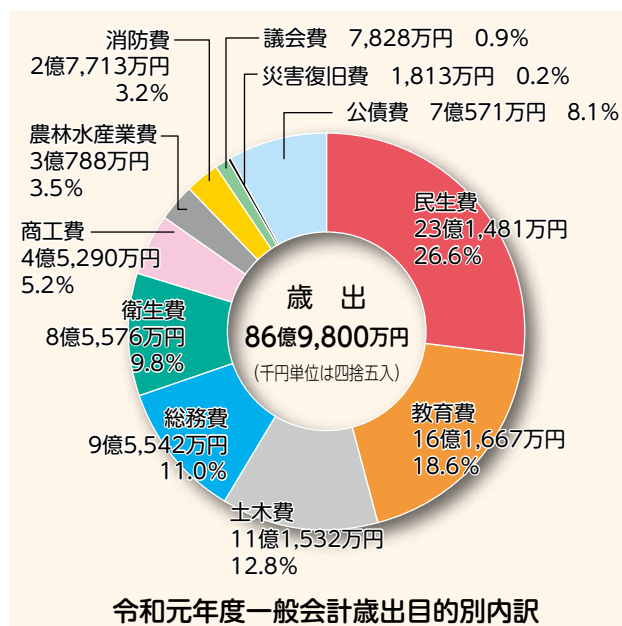
- 問** 企業相談員の活動状況は。
答 製造業を対象に企業訪問を行い、企業データを蓄積しガイドブックを作製。企業マッチング等に生かし、事業継承の相談にも応じる。
問 ホテル育成基金の現状は。
答 目標額はないが大型工事等の財源にし、ほたる祭りの費用にも充てたい。

●農林水産業費

- 問** かやぶきの館の照明設備購入とは。
答 当初予定のLED資産残存分110.9万円を買い取る。
問 県森林づくり県民税の活用は。
答 森林所有者以外の納税から、公園の木製手すりや木製看板など多くの人に還元していく。

●消防費

- 問** 消防団ポンプ操法大会等の訓練取りやめの影響は。
答 寂しいという声や家族の好意的な声がある。機関訓練等の実施訓練を町民に周知することが課題。



令和2年度一般会計補正予算

～新型コロナウイルス対策や7月豪雨災害対策が主なもの～

総額 5億 2,303万円



<住民向け支援>

- プレミアム付商品券事業 (1億760万円)
 - ・プレミアム率50%、1世帯10万円(10セット)まで



プレミアム付商品券

- 役場衛生確保事業 (1,017万円)
 - ・庁舎内トイレの洋式化、乾式床改修
- 新生児特別定額給付金 (1,010万円)
 - ・令和2年4月28日以降に出生した新生児へ1人10万円
- 避難所の感染症対策 (531万円)
 - ・段ボールパーテーション、室内テント、ベッド整備
- 公民館他公共施設の感染症対策 (249万円)
 - ・強制換気の大形扇風機を設置

<学校・保育園向け支援>

- オンライン教育環境整備事業 (1億7,579万円)
 - ・GIGAスクール構想。小中学校児童生徒全員にタブレット1人1台整備
- 町内小中学校トイレ清掃事業 (546万円)
 - ・小中学校108カ所清掃・消毒業務委託(週2回)
- 学校施設コロナ対策環境整備事業 (349万円)
 - ・西小手洗器改修工事、辰中換気扇設置工事等
- 学校施設衛生確保事業 (655万円)
 - ・川島小職員トイレ、南小体育館トイレ改修工事
- 保育園のコロナ対策環境整備事業 (185万円)
 - ・3歳以上児室、遊戯室への空調設置(小野保、東部保、羽北保)

<事業者向け支援>

- 指定管理者事業継続支援金 (2,600万円)
 - ・休業中や不採算期間の維持管理費(人件費除く)や感染対策費用を50万円～1,000万円限度で定率支援
- 指定管理施設衛生確保事業 (110万円)
 - ・たつのパークホテル男女浴室トイレの洋式化改修



たつのパークホテル

- 医療体制確保整備支援金事業 (30万円)
 - ・町内の接骨院・整骨院へ医療体制継続や感染除の資材購入費の一部支援金 1件5万円

<その他>

- テレワーク環境構築事業 (1,085万円)
 - ・職員テレワーク環境整備(認証システム、リモートアクセスライセンス他)
- 商工業振興資金利子補給と保証料事業 (3,000万円)
 - ・商工業振興資金の利子補給と保証料補助
- ガンバル町内商店応援事業 (3,000万円)
 - ・ほたるマイカードポイント10倍付与
- 辰野町あすのプロジェクト事業 (270万円)
 - ・商工会の「あすのプロジェクト」への負担金



あすのプロジェクト

●豪雨災害復旧補正予算を可決

～総額 6,625 万円～

○7月豪雨災害復旧費

- ・農業用施設等復旧工事 (666 万円)
- ・林道施設等復旧工事 (1,299 万円)
- ・道路河川復旧工事 (1,700 万円)
- ・林道西部線復旧工事 (2,370 万円)

○災害対応電気自動車の購入 1 台 (590 万円)



田んぼのり面の崩落

●その他の審査結果

付議事件名		主な内容	本会議審査
令和2年度辰野町事業会計補正予算		上水道（排水施設改良）、下水道（建設改良）	可決（全員）
令和2年度辰野町特別会計補正予算		国保（繰越金繰入）、介護保険（繰越金繰入）	可決（全員）
令和元年度町道74号線工事請負契約の変更		崩落土砂撤去工等の増工による契約金額変更	可決（全員）
人事案件	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	任期満了による再任用の推薦 (荒井佳世子氏・塚間大治氏)	同意（全員）
	辰野町教育委員会教育長の任命	任期満了による再任用の推薦（宮澤和徳氏）	同意（全員）
	辰野町教育委員会委員の任命	任期満了による再任用の推薦（垣内由佳氏）	同意（全員）
	固定資産評価審査委員会委員の選任同意	任期満了による新任用の推薦（石川あけみ氏）	同意（全員）
財産の取得		児童・生徒1人1台タブレット端末取得	可決（全員）
報告事項	令和元年度財政指標等の報告	財政健全化判断比率は財政基準を満たす	—
	専決処分の報告	公用車の損害賠償事故（1件）	—

「私たちはこのように討論し、判断しました。」

【請願・陳情等について】		委員会 審査	本会議 採決	意見書 提出
陳情第11号	種苗法「改正」の中止を求める陳情 (提出者) 上伊那農政対策委員会 委員長 御子柴茂樹 上伊那農業協同組合 代表理事組合長 御子柴茂樹	総務 産業 採択	採択 (全員)	あり
陳情第12号	上伊那の高校再編対象校の速やかな公表を求める陳情書 (提出者) 高校再編を考える上伊那の会 代表 宮下与兵衛	福祉 教育 採択	採択 (全員)	あり
陳情第13号	種苗法「改正案」の廃案を求める陳情書 (提出者) 上伊那農民組合 代表者 竹上一彦	総務 産業 採択	採択 (全員)	あり
陳情第14号	国に対して「すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援 を求める意見書」の提出を求める陳情書 (提出者) 上伊那社会保障推進協議会 代表者 小林伸陽	福祉 教育 採択	採択 (全員)	あり
—	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化 に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について(依頼) (提出者) 長野県町村議会議長会 会長 下平豊久	総務 産業 採択	採択 (全員)	あり

総務産業常任委員会

- ・ほたる童謡公園 1、2号水路泥溜め設置工事
- ・公園施設長寿命化対策工事（荒神山球場/ほたるドーム）
- ・社会資本整備総合交付金事業 町道1552号線ほか



ほたる童謡公園



町道1552号線



荒神山球場



ほたるドーム



春日街道先線

現地調査

令和元年度はどんな事業を行ったの？

実施された主な事業箇所を視察し、いずれも全員一致で認定すべきものと決しました。

福祉教育常任委員会



辰野西学童クラブ



たつの未来館 アラパ



荒神山の受変電設備



- ・辰野西学童クラブ建設工事
- ・荒神山スポーツ公園受変電設備更新事業
- ・スポーツ振興くじ助成金事業 トレーニング機器、備品購入（アラパ）

特別会計決算審議

9月10、11日、町長以下担当職員出席の下で審議し、14日現地調査を行いました。

◆上水道事業会計

問 改良が必要な施設は。

答 施設はほとんど昭和のもので、耐震性はほとんどない。重要幹線の改良と、耐震化に着手している。

問 現金預金が5億円あり、経営は順調と見ていいか。

答 耐震化に大きな費用が掛かるので、財源を見ながら進めていきたい。

◆簡易水道特別会計

令和2年度から町上水道会計に統合されるため、元年度歳入歳出差引残高は上水道会計に引継ぎになる等の説明がありました。

問 クリプトスポリジウム菌(※)対策は。

答 万が一発生した場合には、数日以内に対応できる。外構などについては地元が負担で合意している。

問 令和2年度からの水道会計統合に向け、元年度から料金が統一されたが、問題なかったか。

答 特に問題は起きていない。

※クリプトスポリジウム菌：消化管などに寄生する原虫で、下痢、腹痛、嘔吐などを発症する。地表水を水道の原水にしている場合など、野生生物の糞便等により汚染の可能性があるとされている。強い塩素耐性を持つため、ろ過や紫外線殺菌による除去を行う。



小野水処理センター

◆公共下水道特別会計

◆特定環境保全公共下水道特別会計

令和2年度から地方公営企業法適用となり、農集排水を含めて3会計の差引残高は公共下水道へ引継ぎとなる等の説明がありました。

問 下水道事業3会計で4億円の引継ぎになるが。

答 大きな設備投資に必要な資金で、金額としては少ない。起債償還のピークは過ぎた。

問 元年度決算は1億円の黒字となったが、評価は。

答 元年度は大きな設備投資が無かったが、故障等により急に施設更新が必要になる場合があり、財政の適正規模について検討が必要と考える。

意見 将来設備投資予算は膨れるが、これに充てる留保財源が不十分だ。住民の理解を得ながら留保財源をいかに備えていくかが課題ではないか。



辰野北部排水処理施設(今村)

◆農業集落排水特別会計

令和2年度に公共下水道事業会計に統合するための会計処理等について、説明がありました。

特に質疑はありませんでした。

◆地域情報告知システム特別会計

加入率34%で加入件数は2,878件。システムリースが終了したため、一般会計からの繰り入れが不要となり、黒字の中から526万円を基金に積み立て、基金残高は約870万円に。告知システム終了時の費用を1,500万円見込み、あと2年かけて積み立てる予定等の説明がありました。



条例審査

- 問** システム更新の見通しは。
- 答** 使用している事業者のサービスが2022年と2026年に終了となる。そこで新しい基地局にして継続するか、止めるかの選択になる。
- 意見** 議会からの提案も受けて今後のシステム構築についての検討が始まったが、サービス終了までには時間的猶予があるので、新しいサービスも含めて十分な調査研究が必要だ。



情報告知端末

特別会計決算の6議案は、認定すべきと決しました。

■基本構想審議会条例の一部改正

同審議会の目的に計画の進行管理、施策の効果検証、行財政改革推進の一体的審議を加え、行革委員会を廃止する、という説明がありました。

問 審議会委員を3名増員する目的は。

答 向こう10年を見越した計画にするため、子育て世代や女性委員の増員、外部の有識者の登用など、広く意見を求めるための増員。

意見 個別計画の策定・変更について、審議会では全体的な整合性や、SDGsとの連携についても審議すべきではないか。

条例案は、可決すべきと決しました。

陳情・請願等審査

■種苗法「改正」中止を

上伊那農協・上伊那農政対策委員会から出された「種苗法『改正』の中止を求める陳情」と、上伊那農民組合からの「種苗法『改定案』の廃案を求める陳情書」について、併せて審議しました。

陳情は改定案の問題点として、農家のタネ取り(自家増殖)の権利を制限して農家に大きな負担を生じ



収穫を迎えたリンゴ畑

させることや、種子の独占や市場の寡占化が進み農家や消費者の選択肢を狭めること、海外での無断増殖を防ぐには本改正でなく海外での品種登録が必要なこと、などを指摘しています。

審議では、「育成者の権利を守る事は必要だが改正案では問題が残る。もっと議論し、出来るだけ良い制度にすべき。」「農業は地方の基幹産業として守っていく事が必要。」「資金力のあるものが権利を買い占める恐れがある。」などの意見が出されました。

■コロナ危機に地方財源確保を

長野県町村議長会から出された「新型コロナに伴う地方財政悪化に対して地方の税財源の確保を求める意見書採択の要請書」については、「新型コロナ対策事業の支出が増える一方、地方税など減収が予想されるので、要望に賛成」などの意見が出されました。

以上3件は、全員一致で採択すべきと決しました。

特別会計決算審議

9月10、11日、教育長以下担当職員出席の下で審議し、14日現地調査を行いました。

◆国民健康保険特別会計

「国保健康ポイント事業」を開始し、健康づくりの推進に努めた。町では保険料の値上げを行わず、基金の取り崩しはなかった。保険給付費では、高額医療費が増加したため一般診療費が7,700万円増となり一人当たりの医療費が県内で6番目の高額となった。医療費抑制のため特定検診を増やし、健康教室を推進する。

◆国民健康保険診療所特別会計

第一診療所の患者数は239人で28人の減、川島診療所の患者数は155人で41人の減となり、後期高齢者のみの診療収入となった。

国の交付税による国保会計からの繰入れにより黒字決算になった。

問 今後の診療所経営についての考えは。

答 担当医師から、辞める1年前には言ってもらうことになっている。継続の方法を考えている。



第一診療所

◆後期高齢者医療特別会計

75歳以上の後期高齢者及び65歳以上の障がい認定者の保険料徴収を市町村で行い負担金として県へ納付するもので保険料と一般会計繰入で賄っている。収納率は、現年度分99.8%、過年度分66.3%、全体で99.7%だった。国保税滞納者が後期高齢者になり、滞納してしまうケースが多い。被保険者は、4,045人で69人の増となり、今後ますます被保険者数の増加が見込まれる。

◆辰野病院事業会計

診療収入のうち、医業収益では入院・外来収益ともに増収となった。病床利用率は好調に推移し、外来収益も患者数の伸びもあり増収となった。また、医療報酬が多い地域包括ケア病床を増やし、訪問診療を派遣の医師により行い増収につなげた。経費については、職員の給与費は増額となったが、材料費・減価償却共に減少した。診療材料の見直しや倉庫の整理により、1,000万円の経費削減ができた。医業費及び医業外費用を含めて相対では0.7%増となったが、収益差し引きで黒字決算となった。

問 一般会計繰入金は。

答 4億6,700万円で、前年度比1,000万円の減額となった。



町立辰野病院

◆介護保険特別会計

介護保険サービスは、在宅と施設を合わせて、25,580件の利用があった。介護予防・日常生活支援総合事業を中心に地域支援事業を継続実施してきた。

問 認知症初期集中支援チーム委託内容は。

答 伊那神経科病院の医師・看護師や作業療法士などがチームとなり、医療機関につなげている。

問 保険料滞納による、介護サービス利用時の滞納措置対象者は。

答 滞納措置対象者は、いなかった。

特別会計決算の5議案は、認定すべきと決しました。



条例審査

◆辰野町再生可能エネルギー発電施設の設置及び維持管理に関する条例の制定

現在、ガイドラインに基づいて運用している。問題が生じる場合が想定されることから、災害の防止・良好な景観と生活環境保全を図り、町民の安全で安心な生活を確保する目的として一定の規則を設けるための条例を制定。

条例施行日以降に事業区域で造成工事または、基礎工事を着手する再生可能エネルギー発電施設について適用。



太陽光発電パネル

問 ガイドラインの10kW以上が、条例では30kW以上となっている理由は。

答 家庭での太陽光発電の性能が良くなり、30kWが主流になっている。また、10kW以上にした場合、地域住民への説明が頻繁に行われることから、住民負担が増える。

問 禁止区域にハザードマップ浸水想定や水害などの危険区域が入っていない。水害に遭った場合の責任先は。

答 水害などの想定外なものも、規則に追加する。

問 廃止後の撤去費用を外部積立すべきでは。

答 国による売電費用の中から積立てる制度の予定がある。今回は明記しない。

問 悪質な業者への罰則明記は。

答 状況を見て改正も考える。

条例案は、可決すべきと決しました。

陳情審査

■上伊那の高校再編対象校名の速やかな公表を求める陳情書

- 子どもたちが行きたくなくなる学校をつくるべき。速やかに校名を公表し、子どもを含めた議論を行うべき。

■国に対して「すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書」の提出を求める陳情書

- 常任委員会で行った事業者アンケートでも減収についての支援の要望があった。
- 医療・介護事業所には早急に支援を行うべきと考えるので賛成。福祉事業所等に支援の幅を広げるべき。

以上2件は、全員一致で採択すべきと決しました。

町長への要望を提出

たつの未来館アラパ 運営業務検証の充実を

健全な運営、業務内容などのチェック機能を持つ、第三者による管理運営委員会や利用者会議の設置を図り、施設管理の条例や規則等をより町民に開かれたものに充実させ、実施されることを要望する。

町長 利用者を含めた検討会や荒神山スポーツ公園各施設の連動、公園全体の運営を検討する組織が必要。公園に対する何らかの組織を設けたい。運営協議会等の条例、もしくは規則に位置づけられた第三者が参加する方向で設置するよう検討する。



いっ
—

ぱん
般

しつ
質

もん
問

一般質問には10名の議員が登壇いたしました。それぞれ違った視点から町に問いかけておりますので、ぜひ各議員の内容をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に関する質問		
新型コロナウイルス禍の中、辰野病院の役割について	池田	P12
新型コロナウイルス感染症に関する課題について	向山	P14
コロナ禍においての妊産婦や新生児への支援について	津谷	P14
高齢者の外出自粛生活の状況での認知症予防・介護予防等の取り組みについて	瀬戸	P16
新型コロナウイルス感染症による辰野病院の現状とその対応、対策について	山寺	P16
新型コロナウイルス感染対策について	吉澤	P17
豊かな自然を守るまち		
板沢地区への最終処分場建設計画について	向山	P14
町内におけるごみ処理をめぐる課題について	向山	P14
辰野町役場景観計画の中での歩道の樹木、花壇の管理について	山寺	P16
健やかな笑顔あふれるまち		
荒神山スポーツ公園活性化について	池田	P12
持続可能な食育について	津谷	P14
公園の新設について	舟橋	P15
「川島小学校存続問題」に見る川島地区の移住定住政策について	小澤	P15
エアコン購入補助について	瀬戸	P16
安心した出産ができるための支援について	瀬戸	P16
インフルエンザ予防接種費用の助成対象者拡充について	瀬戸	P16
安心・安全なまち		
災害に対する避難所の安全性の再確認について	松澤	P13
自然災害時の町の対応と予防への取り組みについて	樋口	P13
誰一人取り残さない防災について	津谷	P14
ピロリ菌検査・除菌について	津谷	P14
安心して子供を預けられる、ゆとりを持った保育園運営について	瀬戸	P16
公共施設の安全・利便性向上について	吉澤	P17
仕事に活力と魅力があるまち		
森林整備・林業振興について	向山	P14
「つながり人口創出」事業について	小澤	P15
明日を担う人材と文化を育むまち		
辰野町の未来の小中学校像について	樋口	P13
中学生議会の成果について	向山	P14
3年目の終了を迎える「川島小学校存続問題」について	小澤	P15
行政改革の推進によるまちづくり		
指定管理制度と町直営の課題について	池田	P12
女団連からの要望について	松澤	P13
たつの未来館アラパの今後について	樋口	P13
テレワーク環境について	舟橋	P15
辰野町公式LINEアプリの活用について	舟橋	P15
免許返納者への支援について	吉澤	P17
辰野町霊園の改善について	吉澤	P17



・全ての項目はホームページで閲覧できます。
・質問は「辰野町第五次総合計画後期基本計画」の「将来目標」の項目に沿って区分けしています。



池田 睦雄 議員

新型コロナウイルス感染症への辰野病院の役割は

町長
検査体制を整備し
町民の健康を守る

町長 院内感染防止に努め町民の健康を守っていく。医療、介護従事者には感謝したい。

問 抗原検査導入のねらいは。

事務長 季節型インフルエンザと区別しにくく、安心して診療を受けてもらうため。

問 検査装置と検査体制は。

事務長 「定量検査機」を10月中に導入、それまでは「簡易キット」で対応。検査技師は現状のままで増員しない。

問 検査の対象者は。

事務長 自覚症状者を医師の判断で検査する。無症状者は検査能力を越すため対象外。

荒神山スポーツ公園の活性化は

問 中学生議会の「スポーツの町に」を受けての感想は。

町長 スポーツの持つ力を信じ、スポーツを見つめ直し掘り起こしたい。

問 「たつの海」の水を入れ替え観光場所としては。

課長 沢底川からポンプアップし経費が掛かる。町民の声が出れば考えたい。



初秋のたつの海

指定管理者制度と町直営の課題は

問 指定管理費の総額と一般会計の負担率は。

課長 令和2年度予算は12事業で総額8,083万円、一般財源の1.1%。

問 施設の老朽化対策と多様なニーズにどう応えるか。

課長 指定管理者と町で一定額を決め施設修繕している。多様なニーズには指定管理者の意見を取り入れ関連条例改正も含め対処する。継続性が見込めない施設は廃止も考える。

要望 施設利用者アンケートや利用実態調査を評価に加えることを要望する。

避難所の安全性の判断と誘導指示をどう考えるか



松澤千代子 議員

町長 町の発信する情報に従い避難してほしい

問 町内の避難所は、各種災害すべてに安全が保障されているわけではないので、誘導判断が大切だと思うが。

町長 町内には84カ所の避難所がある。しかし、地震、洪水、土砂災害への適否を、それぞれに判定しているため、別の地域への避難をお願いすることもある。地域の集会所が避難所だと思いつくことなく、町の発信する情報に注意して避難してほしい。

問 今回の非常用持ち出し品や備蓄品リストには女性の声が大きく反映されていた。女性の参画をさらに進めるためにも、避難所開設や段ボールベッドの組み立てなど、赤十字奉仕団と協力していく予定は。

課長 奉仕団や消防団との連携をより深めるためにも、早急に訓練の実施を検討する。



奉仕団の訓練

高齢者の移動手段は

問 デマンドタクシーの受付時間に、ゆとりを持たせられないか。

課長 デマンドタクシーは、受付から運行ルートの設定までを行政で行い、運行事業者に委託する仕組みである。運行事業者に相談してはみたが、これ以上受付時間等の拡大は難しい。

問 デマンドタクシーの改革が無理なら、5年後の団塊世代の移動手段に対して、どう考えているか。

課長 地域の皆さんと地域ケア会議を開催して、今後の移動手段を考えていきたい。松本市新村地区のような地域から立ちあがったシステムが構築できるのいいと考えている。

未来の小中学校の姿は



樋口博美 議員

町長 地域にあった学校づくりを目指す

辰野町未来の小中学校像は

問 チャレンジ3年間の成果は。

町長 移住定住政策を展開して一定の成果をみた。

問 誰一人として取り残さない教育とは。

教育長 子どもたちの個性を伸ばすために少人数学習、教科担任制など取り入れている。子どもたちの個性を把握して、学びを提供したい。

問 新しい学校づくりへの考えは。

教育長 コロナ禍で社会が大きく変化する中、学校の存在意味を考えた。町にあった学校のあり方を考えたい。

提案 校舎併設型小中一貫校に向けて検討を始める時期。若い世代の声が反映する機会を設け、子どもに選ばれる学校づくりを提案する。



子どもに選ばれる学校

今後のたつの未来館アラパは

問 アラパ検討委員会の結果は。

課長 2回の検討委員会を開催。現状の問題を検討した。それらの意見を踏まえて次年度指定管理に向けて進めていきたい。

問 指定管理後の地域おこし協力隊の立ち位置は。

課長 アラパに居なくても何らかの形で出張アラパは続けたい。

要望 地域包括ケアシステムの中で町民の健康増進が目的のアラパとして運営の検討を要望する。

災害発生時の対応と予防

問 町民からの情報提供の必要性は。

課長 情報の提供はありがたい。電話等での情報提供をお願いしたい。

問 町民の情報提供用アプリは。

課長 防災情報ステーションや町の公式LINEアプリにも情報提供する機能はある。

要望 事前に危険を取り除く取り組み、積極的な攻めの防災を要望する。



向山 光 議員

クリーンセンター
たつのの解体工事は

町長
長年の地元のご理解・
ご協力に深く感謝

問 工事に関し協議すべき事情が生じた場合は。
課長 地元が目線に立ち、速やかに広域連合との協議が行えるよう進めていく。



半世紀に及ぶ使命を終えたクリーンセンター

板沢最終処分場問題、町民へ現状の情報を

問 問題が明らかになってから4年。この間の経過・事実を、町民の皆さんへまとめて、きちんと伝えていくことが必要ではないか。
課長 あらゆる機会に情報提供をしていきたい。

新たな森林経営管理制度に向け、担い手確保を

問 森林環境譲与税を活用した森林整備の計画は。
課長 町への管理委託について森林所有者の意向調査を行うために、台帳整備等を進めていく。
問 町が担うべき森林施策は大きく広がる。森林施業事業者や作業員確保のための施策を。
課長 担い手は広域的な確保、育成が必要。林業に特化した新たな補助事業は今後必要と考える。

新型コロナ感染者等に対する差別・中傷の防止を

町長 ホームページやほたるチャンネルなどで機会あるごとに広く伝え、意識の醸成、共有を図る。
問 小中学校、保育園で感染者が出た場合の対応は。
教育長 町独自の対応マニュアルを作成した。児童・生徒の安全確保を最優先に対応する。

中学生議会の成果と今後についてどう考えるか

町長 町のことを真剣に考え、新しい発想を持っていると再認識。次回計画があれば最大限協力する。
教育長 中学生が町のことを本当に考えていると思った。中学としては毎年続けられると嬉しい。



津谷 彰 議員

コロナ禍における
新生児や妊産婦
への支援は

町長
町独自で新生児に
1人10万円を支給

誰一人取り残さない防災は

問 避難させることに迷わない判断や情報発信は。
課長 気象情報や、土砂災害情報と共に職員等が確認した現地の状況などを総合的に検討し判断する。少しでも命の危険性があれば躊躇せず避難指示の発令することを基本に判断する。
問 災害時において、救急医療等を迅速に行うために、個人情報等をQRコード化する考えは。
課長 上伊那地域包括医療協議会において、上伊那地域全体で統一した導入を検討中。
問 ライフラインの確保が難しい環境や、避難所の感染症対策の一つとして液体ミルク導入を要望する。体験モニターや試飲等による周知の考えは。
課長 保健師が赤ちゃん訪問の際に配布して周知。各家庭での備蓄として検討してもらう仕組みをつくる。
問 総合防災訓練の総括は。
課長 様々な課題が見えてきた。段ボールベッドやパーテーションを多くの方に体験してもらう。今後、防災運動会なども検討していく。



総合防災訓練

持続可能な食育は

問 第2次辰野町食育推進計画の取り組みは。
課長 辰野町健康づくり推進計画と一体的な計画にした。乳幼児期から高齢期のライフステージごとに着目した目標を設定し取り組んでいる。
問 小中学校の給食での地産地消率は。
課長 昨年6月の調査では県内産42.7%、このうち町内産16.3%。11月は県内産53.4%、町内産25.5%だった。
問 家庭での啓発や、大人の食育推進は。
課長 家庭の味や地域に伝わる郷土食、行事食は日本の文化を知る上でも大切。関係者の協力を頂きながら推進していく。

町の テレワークへの 考えは

町長

考慮すべき課題はあるが積極的に活用していく



舟橋 秀仁 議員

課長 補正予算で導入予定の端末20セットを使い、少人数から試行する。想定している課題として労働時間や健康衛生の管理、そして個人情報漏洩問題がある。対象職員や業務は今後検討していく。また、システム環境としてセキュリティ対策や必要なライセンス等の環境も整え、制度設計も行い、今年度中には着手したい。

要望 同じシンククライアント環境を導入している箕輪町と協調して検討してほしい。

問 企業誘致に向けたサテライトオフィスは。

課長 下辰野商店街の休眠不動産活用の取り組みで、居酒屋、カフェ、接骨院等4店舗がオープンした。に加え、シェアサテライトオフィスがオープンする計画も進んでいる。



信州フューチャーセンターのコワーキングスペース

町公式 LINE アプリの登録状況と今後の活用は

課長 7月から運用を始め、現在の登録者は750人。提供しているサービスはゴミの分別方法や捨て方の自動応答案内と防災情報である。今後の活用方法としては、行政サービスのアンケートや住民からの投稿の受付、電話で受け付けている相談業務の24時間対応などが考えられる。

公園の新設について

問 羽北地区に公園を作れないか。

課長 一番小さな街区公園でも2,500㎡の用地が必要。都市計画が認められれば新設は可能。

問 新設の際の課題は。

課長 公園の近隣住民の騒音への理解や用地取得の費用等がある。また公園の維持管理には指定管理により地域住民の理解と協力も必要。何より地域住民との合意形成が大切。

令和3年度全校で 9名の川島小学校 の今後の方針は

町長

来年1月末をめどに考えをまとめたい



小澤 睦美 議員

3年目の終了を迎える「川島小学校存廃問題」

問 平成30年2月に出した辰野町小中学校の今後に対する教育委員会の見解の中で、川島小学校は提言のとおり、「統合の対象として準備を進める必要があると結論を出さざるを得ない」とした方向性について、変更はないか。

教育長 町内小中学校あり方検討委員会は、20名の委員で構成し、約1年余り議論し提言をまとめた。当時の検討委員会が子どもたちの学びを考えると、やむなしとした結論は、今でも大事にしたいと考えている。

問 チャレンジ期間の3年まで残すところ半年余りとなり、川島小学校の児童数は全校で令和2年度12名、令和3年度9名の予定。早急に、総合教育会議を開催し、教育委員会の見解に基づき、川島小学校の統合につき検討すべきと思うが。

町長 川島小学校だけでなく、町全体の学校教育の将来像を考えている。一つの方向性を見極めるのは、つらく厳しい試行錯誤ではあるが、遅くも年明けの1月末をめどに考えをまとめたい。



川島小学校

「つながり人口創出」事業とは

問 長野県が川島地区で、移住定住政策として行う「つながり人口創出実証実験」とは、どのような内容か、また町はどのような関与を行うのか。

課長 川島そばのブランド化プロジェクト、薬膳カフェの後継者発見プロジェクト、都市圏からのモニターツアー等が事業内容である。町も進捗状況を確認しながら共にプロジェクトを推進していく。

その他の質問

- ・川島地区における移住定住政策について
- ・小規模特認校制度の効果について

瀬戸 純 議員



町外出産のため
タクシー代助成等
移動支援を

町長
すぐに支援内容の
研究を始める

子どもと妊婦へインフルエンザ予防接種費用の助成を

課長 ワクチン不足で追加発注は難しい中、助成で接種者が増えると予想される。今年度はできないが、今後は検討していかねばならない。

高齢者世帯等へのエアコン設置・購入費助成を

問 新型コロナウイルス感染症対策の外出自粛と酷暑で、自宅で過ごす高齢者が増えた。冬の福祉灯油購入費用助成のように、夏場の福祉冷房機器購入費用助成の考えは。

町長 全国的にも助成をはじめた自治体も出てきているが、現段階では個人宅への助成は厳しい。今後調査研究する必要がある。

公民館等へのエアコン設置・購入費助成を

問 地域のコミュニティーの中心であり、避難所にも指定されている公民館や集会所等へのエアコン設置購入費助成の考えは。

課長 28 施設中 9 施設にエアコン設置されているが、助成の考えはない。

町長 防災の観点からも、今後のキーワードだと考える。検討していきたい。

保育園での新型コロナウイルス感染症対策としても、少人数クラスを考え、保育士の増員を

課長 机等の消毒やトイレ掃除は保育士が担っている。学校の様に委託をしなくてもやっていると判断した。また、フリー（複数保育園担当）の正規保育士を確保している。



中央保育園、未満児用トイレ

その他の質問

・コロナ禍での不要不急の外出自粛による、認知症・介護予防等への取り組みは

山寺 はる美 議員



コロナ禍の
辰野病院の
現状と対策は

町長
全職員力を合わせて
取り組んでいる

問 辰野病院の発熱外来の利用状況は。

事務長 4月～8月に電話も含め 168 件の利用があり、うち発熱診療は 30 人。保健所へは 12 人を紹介した。

問 来院者を対象にした新型コロナウイルス感染症対策は。

事務長 入り口に自主的に検温出来る機器を置き、抗原検査機器が整う 10 月中旬までは P C R の外注検査と抗原検査の簡易キットで対応する。

問 コロナ禍での 4 月～6 月の病院経営への影響は。

事務長 前年比外来患者が 11.7%、入院患者が 20% 減り、3,500 万円減収。

問 減収減益への対策は。

事務長 訪問看護に力を入れ患者を積極的に受け入れ、7 月以降病床利用率が持ち直している。また検診体制も整え、企業への働きかけもしている。

問 病院改革 4 つのプロジェクトは効果が出ているか。

事務長 薬のジェネリック化（86%）や委託契約の見直し、地域包括ケア病床の増床などで効果が出てきている。



改革効果が出始めた辰野病院

辰野町景観計画の中での歩道、樹木、花壇の管理は

問 町景観計画で魅力的な沿道景観の美化に取り組む団体も高齢化している。持続可能な管理計画の旗振りを町が進める考えは。

副町長 行政だけでなく住民と力を合わせる事が基本と思う。管理計画をどうするか地域と検討すべき課題。

新型コロナの 検査体制は 拡充されるのか



吉澤
みつお
議員

町長

今後は医療機関で
検査される予定

問 全国にコロナ感染を拡げている都市部の感染震源地への検査強化は、町の感染対策上重要なので、国・県へ対策を要望してほしい。上伊那の検査体制の見通しは。

町長 各医療機関でPCR検査を行う体制の確立を図る予定。辰野病院は抗原検査を始める。

問 経営危機で医療・介護崩壊を招かないよう、町内医療福祉事業所に追加支援する考えは。

課長 新たに接骨院・整骨院へ補助を行う。マスクの他、新たに防護服の備蓄も行う。

問 国保税、後期高齢者医療保険料、介護保険料は、コロナで3割以上収入が減る見込みの場合などに、全額から2割免除になる。この減免特例の適用状況と周知の取組みは。

課長 国保税は30件の相談があり、15件承認し、210万円減免した。今後も周知していく。

公共施設の安全性は

問 役場庁舎の階段は暗くて急で滑りやすく、けが人も出ている。危険性の認識と改善の考えは。



役場庁舎の階段

課長 滑り止めは交換する予定で見積もりを取っている。業者が決まり次第、施工する。

免許返納者への支援は

問 免許返納時の運転免許経歴書の取得に要する費用に対して、箕輪町は1万円、伊那市は5千円補助しているが、町も補助する考えは。

課長 県下23市町村が何らかの補助をしている。他町村の動向や効果を見て、判断したい。

辰野町霊園の改善は

問 合葬式墓地について、町営墓地使用者に対して先日行った意向調査の結果は。

課長 113人が回答し、区画を返還したいが55%、合葬墓への移設希望が60%。結果は公表する。



第4次 議会活性化委員会

新型コロナウイルスの影響により、予定していた女性タウンミーティングと樋口・宮所地区でのタウンミーティングが中止となりましたが、議会主催の中学生議会は予定通り実施いたしました。また、毎月開催している議会活性化委員会については以下に報告をいたします。

活動内容

7/16 第15回 議会活性化委員会

- ・中学生議会について
- ・休日・夜間議会について
- ・現地調査の日程について

8/19 第16回 議会活性化委員会

- ・中学生議会について
- ・議員定数・報酬について

8/26 中学生議会の開催

9/28 第17回 議会活性化委員会

- ・中学生議会を振り返って
- ・議員定数・報酬について

今後の検討項目

- ※議員定数・報酬について（継続）
- ※女性タウンミーティングと町民とのタウンミーティングの今後について
- ※議会のタブレット導入について 他

防災訓練に参加 8/30 (日)



今年では地区毎の防災訓練に代わり、「自宅で被災したら」を想定したご家庭での行動確認を呼びかけ、議員は各区の役員の皆さんとほたるドームで避難所開設の訓練に参加。段ボール製の間仕切りとベッド作りを体験しました。

今回も町に対するご意見・ご要望を町民の皆さんからお話を伺いました



米澤 友子さん(宮木)



区の球技大会で知り合った40才代の仲間が時々集まり、トリムバレーを通じて絆を深めている。同年代の会話はとても楽しい。通学路の安全についても、よく話題になる。

根橋 代治さん(小横川)



町には生活環境の整備をお願いしたい。遊休農地やその土手の整備、老朽化により崩れそうな空き家、浸食されて危険な護岸など、環境の整備を進めて欲しいと思う。



武田 翔さん(平出)

辰野高校で地域おこしの商品開発に加わったことから食に興味を持ち、調理師になった。味は人の顔の表情に直結しているので美味しいものを提供できる料理人になりたい。

皆さんの声を町政に届け
より良いまちづくりに向け
尽力していきます



小松 陽子さん(羽場)



日頃から学童を利用しているが、コロナ禍の長期休校期間も安心して仕事をする事ができた。また、図書館のイベントや手厚い指導が親子共に大変ありがたかった。

新村 幸子さん(上平出)



大好きな花を、庭や畑の隅に作って楽しんでいる。ほたる童謡公園で行われる軽トラ市に参加するため、豆や野菜を楽しみながら栽培している。我が家は親子3代の7人家族だが、少子化対策は必要。

次回定例会のご案内

12月定例会予定

開 会	12/1(火)
閉 会	12/16(水)
一般質問	12/8(火)・9(水)
委員会審査	12/10(木)・11(金)

※確定した日程は新聞等でご確認ください

議会だよりへの声

町民の皆さんより、議会だよりに対するご意見・ご感想を寄せていただきました。ありがとうございました。以下に紹介いたします。

- ・議会だより78号の表紙写真の撮影場所の問い合わせ。
- ・「町民の声」のコーナーに、議会に対するコメントや感想を入れたほうが良い。
- ・2つの常任委員会のページを色分けする必要はない。
- ・以前より、議会だよりが読み易くなった。

町民の皆さんからのお声を参考に、少しでも多くの方にご愛読いただき、議会に関心を寄せてもらえるような紙面づくりをしてまいります。

議会広報編集委員一同